



報告

9/27



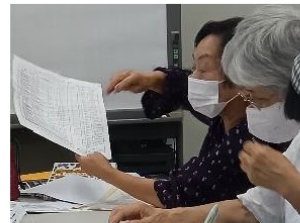
大東西地域活動委員会・大東平和グループ



平和「たんぽぽ」グループさんより「模擬原爆の話」をお聞きし、平和の大切さを語り合いました

原爆の練習って・
同じ形の爆弾が・
日本中に落とされた!?

なに、
それ!?



パンプキン
爆弾
模擬爆弾

知っていますか・ 広島・長崎の前に、日本各地で同じ大きさの爆弾に核物質ではなく爆薬を詰めた模擬爆弾の投下をしていたことを!!

アメリカは 1945 年 7 月 20 日~8 月 14 日の間に 49 ヶ所模擬原爆の投下訓練を行いました。大阪市東住吉区田辺に投下されたのがその一つです。7 月 26 日午前 9 時 26 分米軍の B-29 爆撃機 1 機が大きな爆弾を投下し、旋回して行きました。たった 1 発の大型爆弾で、死者 7 人 重軽傷者 73 人 被災者 1645 人の被害が出ました。

なぜ模擬爆弾が慌ただしく投下されたのか? 原爆を投下するには技術が必要でした。目視で原爆を目標地点に投下する。投下とともに自らの機体が被爆しないように急旋回させる。それを想定通り実戦投下するためには訓練が必要でした。その訓練用爆弾が模擬爆弾だったのです。7 月 26 日、米英中 3 国は日本に無条件降伏を勧告するポツダム宣言を発表しましたが日本は黙殺、広島・長崎の原爆投下やソ連の参戦により 8 月 14 日に受諾し、終戦になりました。

2001 年田辺模擬爆弾でお父さんを亡くされた村田さんが跡地近くに碑を建立されました。現在、模擬原爆追悼碑は恩楽寺山門に移設され「北田辺のまちづくりと歴史を考える会」が中心となり 毎年 7 月 26 日の投下時間に碑の前で追悼式が地域ぐるみで行われています。



感想



- ・最初 7 月 26 日にポツダム宣言を受諾していたら、原爆投下はなかったのでは、と思う国を守るため戦争をし続けねばという軍の使命に戦争の恐ろしさを感じた。
- ・49 か所の模擬爆弾の投下地域でお互いに交流ができれば、より何か見つけれそう!
- ・知ること、語り継ぐことが大切! 学習したことを地域で知らせたい。
- ・戦争が実験になっていた。今の戦争は儲ける武器商人がいる、文化的な質の向上を求めたい。非核平和都市宣言をしていない自治体には申し出行動をし、増やしていけたら。

平和たんぽぽグループさんより

争いはダメ、お互い話し合い公平な和平を。Image することが大事。
平和をどうつなげていくのか、自分事として考えましょう。

戦後 80 年平和の大切さを紡いでいきましょう
場所はおおさかパルコフ京橋事務所です

戦後 80 年
Imagine
12 月 6 日
開催